



令和5年5月17日
北九州市上下水道局

内水浸水想定区域図を公表します

～ 激甚化・頻発化する豪雨に備えて ～



令和3年度の水防法の改正により、想定される最大規模降雨である 153mm/h(九州地方で観測した最大降雨)に対して、「内水浸水想定区域図」の作成が必要となりました。

このたび、[※]想定される最大規模の降雨(153mm/h)が市内全体に降った場合に、内水氾濫により浸水が想定される範囲や水深をまとめた「内水浸水想定区域図」を作成しました。

また、独自の取組みとして、本市における過去最大規模の降雨(70mm/h)の「内水浸水想定区域図」もあわせて作成しました。

この「内水浸水想定区域図」は、上下水道局ホームページ等でご確認いただけます。

1 概要

公表日 令和5年5月17日

公表内容 内水氾濫によって浸水が想定される範囲と水深

対象降雨 1時間に 153mm(想定最大規模の降雨)

1時間に 70mm(北九州市における過去最大規模の降雨)

公表範囲 市街地(合流地区)を中心に約 7,500ha

公表場所 北九州市上下水道局ホームページ(内水浸水想定区域図)

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/s01101096.html>

地域ポータルサイト「G-motty」(内水浸水想定区域図)

<https://gmottygyosei-kitakyushu.opendata.arcgis.com/>



2 作成にあたって

- ・市内の地形、雨水排水施設(雨水管、排水路、貯留施設、ポンプ施設など)や放流先の河川情報をもとに作成したものです。
- ・河川からの外水氾濫(洪水)は起きていない前提です。
河川の外水氾濫(洪水)については、各河川の洪水ハザードマップをご覧ください。

※

内水氾濫:大雨で下水道管や水路がいっぱいになり、雨水ますなどから水があふれること(河川が近くでない場合でも発生する場合があります)

外水氾濫:大雨で河川の水位が上昇し、堤防を超えることや堤防が決壊することで河川の水があふれること

内水氾濫のメカニズム 内水氾濫には2つのタイプがあります。

①



短時間に激しい雨が降ること、下水道の排水が間に合わず、溢れたり、溜まったりして起こる氾濫

②



河川の水位が高くなることで、排水できず発生する氾濫

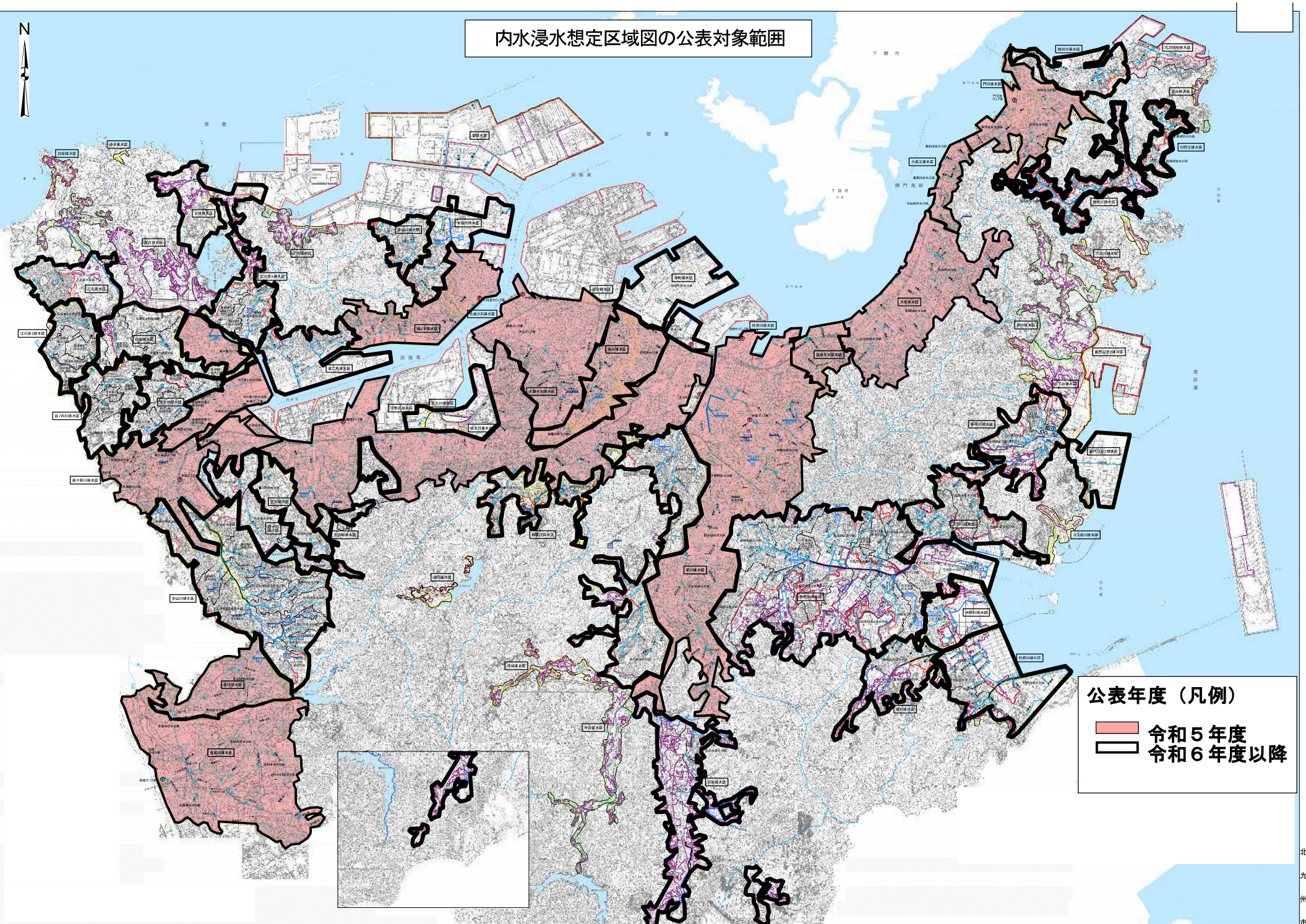
問い合わせ先

北九州市上下水道局下水道部下水道計画課

西田(課長)、麻生(係長)

電話 093-582-2480

内水浸水想定区域図の公表対象範囲



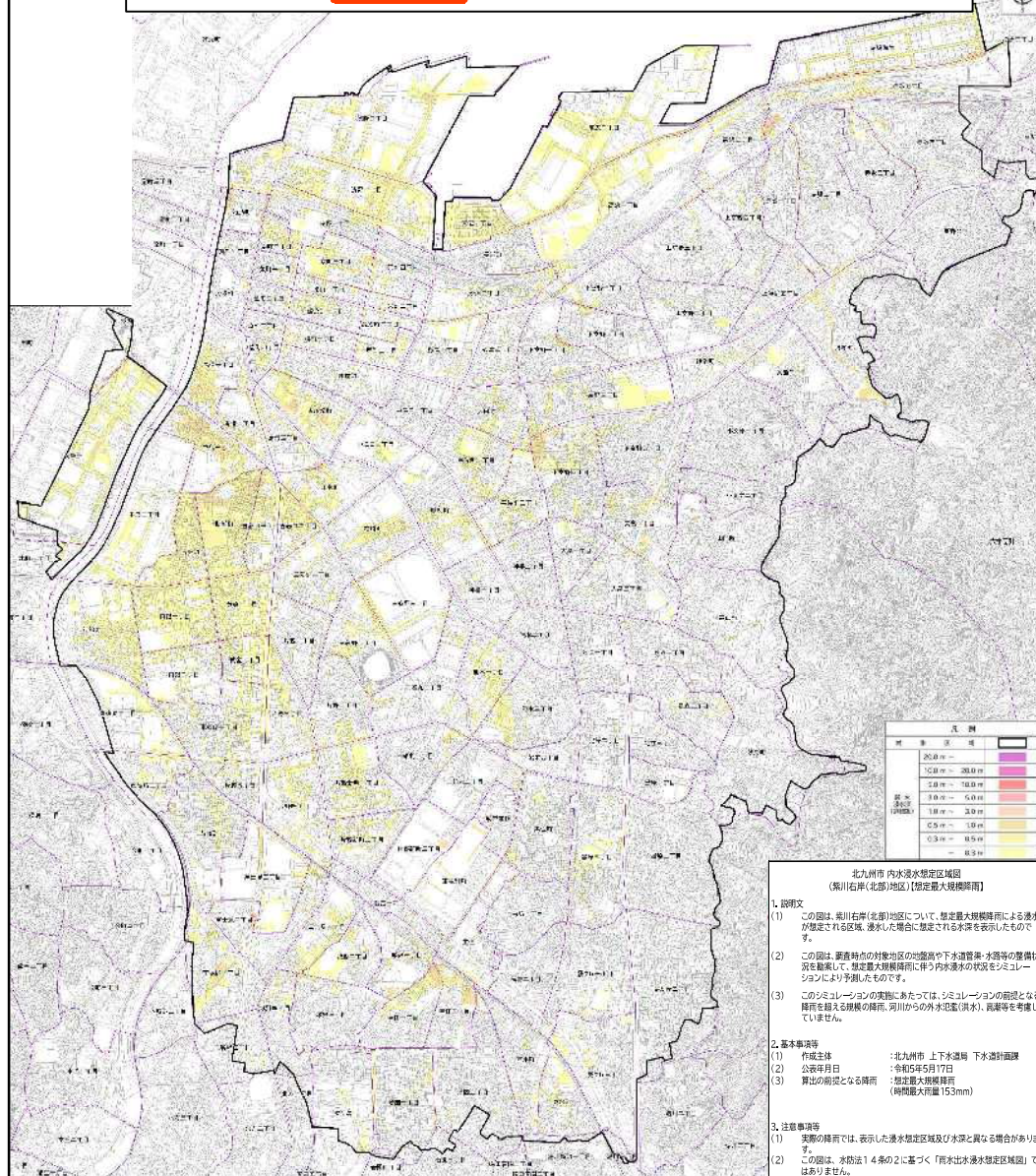
公表年度（凡例）

- 令和5年度
- 令和6年度以降

※この図面は、下水処理場のために調整したものであり、現実の地形と異なる場合があります。

内水浸水想定区域図のイメージ

④紫川右岸（北部）地区 内水浸水想定区域図
【想定最大規模降雨（153mm/h）】



④紫川右岸（北部）地区 内水浸水想定区域図
〈参考〉【既往最大規模降雨（70mm/h）】

